

# 大阪フィル ハーモニー 交響楽団

〈指揮〉尾高忠明  
Tadahiko OTAKA, conductor

© 飯島隆

# 京都特別演奏会

都に響く! 縦横無尽の大フィルサウンド



© Tatsuo Sasaki

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73 「皇帝」

ブラームス

交響曲 第2番 ニ長調 作品73

〈ピアノ〉小山実稚恵 Michie KOYAMA, piano

2021 10.31(日) 15:00開演(14:00開場) 京都コンサートホール 大ホール

S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円 [学生券(25歳以下・要学生証)は各ランク半額]

© Hideki Otsuka

お問合せ ■大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890(平日10:00~18:00/土曜10:00~13:00/日祝休) ■エラート音楽事務所 075-751-0617

プレイガイド ■京都コンサートホール 075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>  
■ロームシアター京都 075-746-3201 ■チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> [Pコード:196-503]  
■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:51554] ■e+(イープラス) <https://eplus.jp>

京都の秋 音楽祭

※学生券のお取扱いは大阪フィル、エラート音楽事務所、京都コンサートホール、ロームシアター京都(窓口販売)のみ。購入の際には学生証が必要。※未就学児入場不可。

主催:公益社団法人大阪フィルハーモニー協会、公益社団法人日本オーケストラ連盟

共催:京都市、京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

助成: 文化庁

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核とした  
アートキャラバン事業

協賛: ローム株式会社 協力:エラート音楽事務所

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



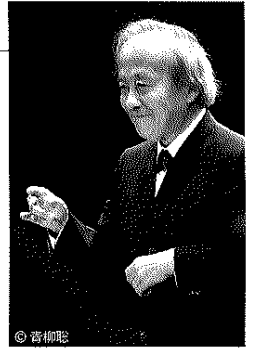


# 大阪フィルハーモニー交響楽団 京都特別演奏会

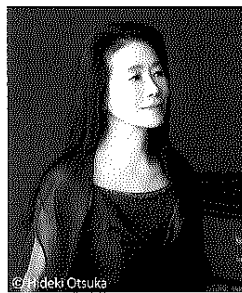
今年の大阪フィル「京都特別演奏会」は、音楽監督・尾高忠明が2年ぶりに登場！一昨年、ザ・シンフォニーホールでの「ブラームス・チクルス」が高い評価をいただきましたが、そのなかから“ブラームスの田園交響曲”と呼ばれる晴れやかな第2番を京都の皆様にお届けいたします。コンチェルトはベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番。豊かに響く低音からきらめく高音まで、ピアノの魅力が存分に発揮された本作は「皇帝」の名にふさわしい傑作。ピアノ独奏は小山実稚恵さん。名手の演奏で聴く名曲、ご期待ください。

## 〈指揮〉尾高忠明 Tadaaki OTAKA, conductor

1947年生まれ。2017年4月から大阪フィルハーモニー交響楽団のミュージック・アドバイザーを経て、2018年4月から音楽監督に就任。また、国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン交響楽団、ベルリン放送響等世界各地のオーケストラへ客演。これまで1991年度サントリー音楽賞受賞。1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。このほか1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与されている。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。現在大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督の他、NHK交響楽団正指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、札幌交響楽団名誉音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。2010年から2014年までは新国立劇場オペラ芸術監督を務めた。



© 青柳聡



## 〈ピアノ〉小山実稚恵 Michie KOYAMA, piano

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。2017年までの「12年間・24回リサイタルシリーズ」は、演奏内容と企画性に於いて高い評価を受けた。2019年から「ベートーヴェン、そして…」がスタート。これまで、国内外の主要オーケストラ、国際的指揮者との共演も数多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を開催。CDは、ソニーから昨年リリースされ、「レコード芸術」特選盤に選ばれた初のベートーヴェンのソナタ録音「ハンマークラヴィーア・ソナタ他」に続き、32枚目となるベートーヴェン・アルバム第2弾「ピアノ・ソナタ第30、31、32番」を2021年6月16日にリリース。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ「傑作の森」への道のり』、『ベートーヴェンとピアノ 限りなき創造の高みへ』がある。これまで文化庁芸術祭大賞、東燃ゼネラル音楽賞本賞、文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞。2017年度には紫綬褒章を受章。

## 大阪フィルハーモニー交響楽団 Osaka Philharmonic Orchestra

<http://www.osaka-phil.com>

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1960年、現在の名称になった。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集めた。2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ／交響曲第4番」、「交響曲第7番」「交響曲第11番」を相次いでリリース、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開。楽団創立70周年を迎えた2017年には、「バーンスタイン／ミサ」国内23年ぶりの上演などの充実した活動が高い評価を受け、平成29年度文化庁芸術祭・優秀賞をはじめとする多くの賞に輝く。また尾高音楽監督就任初年度となる2018年度はシリーズ企画「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」が評価され、2年連続となる関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞受賞を受賞。尾高忠明指揮による「エルガー／交響曲第1番」の録音が「レコード芸術」特選盤に選ばれる。2021年8月「ブルクナー／交響曲第9番」をフォンテックよりリリース。

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

ロームは音楽文化の普及と発展に寄与するため 様々な活動を支援しています。

ロームのメセナ活動

### 京都コンサートホールへのアクセス

京都市営地下鉄丸の内線 北山駅下車 1番または3番出口 南へ徒歩5分

[大阪フィル・ホームページ] <http://www.osaka-phil.com/>